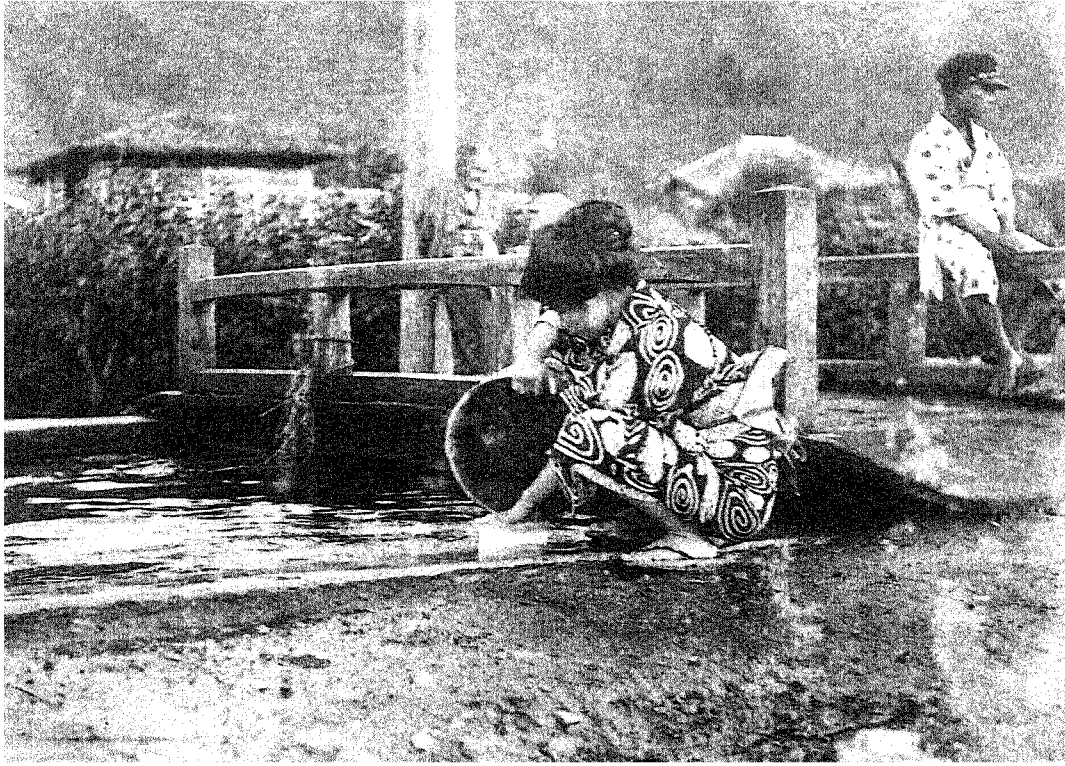


# 魚が住める川に・・・

## 家中川水質浄化実践活動が今年も大きな成果



むかしはあちらこちらで見られたこんな風景

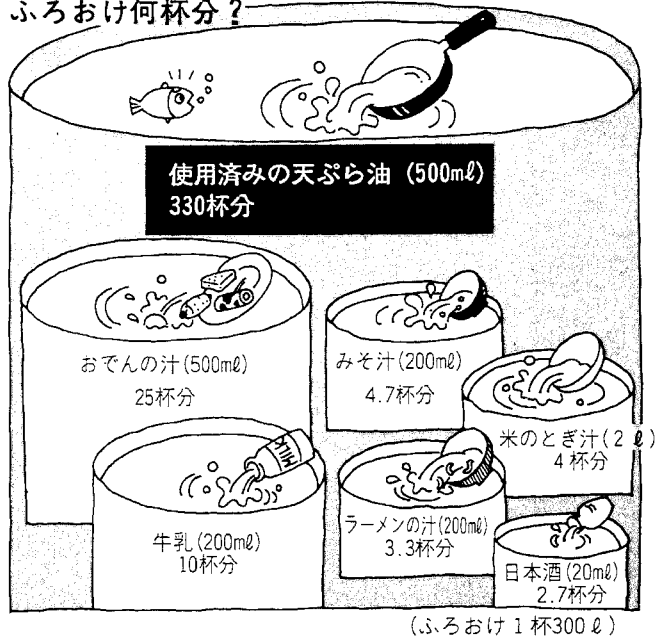
「川を汚している張本人はわたしたちです」

今、自然破壊が取り沙汰される中、河川や海の汚れが大きな社会問題となっています。水質汚染の原因というと、すぐ工場などからの産業排水を連想しがちですが、実は家庭から出る、生活排水によるところが大きいのです。

都留市民一人が家庭で一日に使う水の量は平均三六〇ℓです。日本の平均が約二〇〇ℓと言われていますので、約一・八倍の使用量となります。わたしたちは、炊事や洗濯、ふる、トイレなど様々な形で水を使い、それらを川に流しているのです。この中でも台所から出される食品、油、調味料といったものが一番の汚染源となっています。

昨年からこうした家庭排水に含まれる汚濁物質をシャットアウトし、市内を流れる家中川をきれいにならうと、実践活動が始められました。今年もこれに引き続き、八月一日から二十一日までの三週間、家中川流域の上谷、中谷、下谷、禾生の一部の約三五〇〇世帯を対象に各世帯に水切り袋、キッ

魚が住める水質にするために必要な水の量は  
ふろおけ何杯分？



川を守るのはあなたの思いやりからです。みんなで力を合わせて、川にやさしさを取り戻し、住みよい生活環境を築きましょう。

家中川の1日あたりの汚れの量  
(単位：kg/日)

検査項目	B O D (生物化学的酸素要求量)
実践活動前 7月26日	810
実践活動中 8月7日	630
減少率	22.2%

チンペーパー、油凝固剤を配り、パンフレットで河川の浄化を呼びかけました。この結果、実践活動前と活動期間中の水質を比較すると、水質汚濁度を示す生物化学的酸素要求量(BOD)が八一〇kg/日から六三〇kg/日と約二二・二%減少しました。これは、昨年同時期に行われた実践活動と比較しても活動前の数値が一〇%減少し、家中川が着実にきれいになっていくことが裏付けられるとともに、住民一人ひとりの河川の浄化の意識、関心度が高まってきていると言えます。